

令和5年度 2年 家庭総合 シラバス

教科・科目名	家庭科・家庭総合	単位数	2単位	対象 学科	普通科	対象学年	2年	使用教科書 (会社名)	東京書籍
--------	----------	-----	-----	----------	-----	------	----	----------------	------

科 目 目 標 (資 質・ 能 力)	柱 書	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	知識及び技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

学 期	月	指導項目 (内容のまとめ)	テーマ	学習内容	時 数	内容のまとめごとの評価規準			
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	4	オリエンテーション 第3章 子どもと共に育つ	1 命を育む	次世代の育成 青年期の責任 命の誕生	1	命の尊さ、乳幼児の心身の発達と生活について考察し、子どもの育つ力について、根拠に基づいて論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
				子どもの育つ力				2	
			2 子どもの育つ力を知る	子どもの遊び	2				
				子どもの発達と保育 子どもの生活と保育	2				
			3 子どもと関わる	子どもの健康	2				
	5	4 子どもとの触れ合いから学ぶ	読み聞かせ 折り紙	1	子どもの発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。				
			1						
	5	5 これからの保育環境	保育の課題 地域や社会との関わり 子どもの権利と福祉	1	子育て支援について理解を深めている。 子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。				
			1						
	6	第9章 経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定	消費生活と意思決定 消費者と情報管理	2	消費生活の現状と課題について理解を深めている。 消費行動における意思決定について理解を深めている。 生活情報の収集・整理が適切にできる。	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
2 購入・支払いのルールと方法				購入と契約					3
3 消費者の権利と責任				消費者保護 クーリングオフ					2
4 生涯の経済生活を見通す				経済的な自立 障害を見通して働く					2
7	巻頭・各章末 ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動	ホームプロジェクトの課題設定 その解決方法について考える	課題を設定し解決の計画 を立てる	1	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、実践を評価・改善して課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
			ホームプロジェクトの評価と 改善					実践発表 ふり返り	1
2	9	5 家計をマネジメントする	収入と支出 家計資産のマネジメント	2	生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解を深めている。 リスク管理の考え方について理解を深めているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。	どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考え、実践しようとしている。			
			6 これからの経済生活				持続可能な経済生活	1	

学期	月	指導項目 (内容のまとめ)	テーマ	学習内容	時数	内容のまとめごとの評価規準・【評価方法】		
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	10 11 12	第7章 衣生活をつくる	1被服の役割を考える	被服の機能	3	・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解している。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
			2被服を入手する	被服の入手 被服と表示	3	・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。		
			3被服を管理する	被服の手入れ	2	・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服衛生について科学的に理解している。		
			4被服を作る	製作実習	16	・被服構成について科学的に理解している。 ・被服製作について科学的に理解している。 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。	製作にあたって、創意工夫があり、表現することができる。	
			5衣生活の文化と知恵	生活文化と被服	1	・日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。	・主体的に衣生活を営むことができるよう日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
			6これからの衣生活	環境に配慮した衣生活	1	・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3	1 2	第8章 住生活をつくる	1住生活の変遷と住居の機能	住居の機能と変化 住居の計画	2	・住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴について科学的に理解している。	・主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
			2安全で快適な住生活の計画	住居の防災 健康な住生活	6	・ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。 ・住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。 ・快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。	・主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
			3住生活の文化と知恵	気候風土と住居 様々な重要式	2	・日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。	・主体的に住生活を営むことができるよう日本の住文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
			4これからの住生活	持続可能な住生活	2	・住生活を取り巻く課題など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解している。	・主体的に住生活を営むことができるよう環境に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3		第11章 これからの生活を創造する	1生活をデザインする	生活設計 なりたい将来像	4	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。 ・生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

評価方法

- ①知識・及び技能、②思考力・判断力・表現力、③学びに向かう力の3観点を、総合的に判断し評価する。
- 領域や内容による評価の観点は、上記に示す通りとする。
- プリント・レポート・作品等の提出等も評価に含む。

履修上の留意点

※安全・衛生に十分注意し、器具や材料の取り扱いを適切に行ってもらう。